

- 1 これは私の電話です。私を買って、支払っています。そして、あなたに貸しています。
- 2 パスワードは必ず知らせること。
- 3 これは電話です。鳴ったら出ること。「こんにちは」と礼儀正しく言いなさい。「ママ」や「パパ」と表示されたら無視しないで必ず出なさい。
- 4 学校がある日は夜7：30、週末は夜9：00には、ママかパパに電話を預けなさい。友達の両親が直接出る固定電話に電話できないような相手ならスマホで電話もメールもしてはいけません。
- 5 学校に持って行ってはいけません。メールをやりとりする友達とは直接会話しなさい。会話をするとは人生のスキルです。
- 6 トイレに落としたり、地面に落としたりして壊したときやなくしたときは、修理や買い換えはあなたの責任です。芝刈り、ベビーシッター、誕生日祝いのお金で払ってもらいます。備えておきなさい。
- 7 テクノロジーを人に嘘をついたり、人を馬鹿にしたりするために使ってはいけません。人を傷つける会話に参加しないこと。
- 8 相手に直接言えないことをメールしない。
- 9 友達の親の前で声に出して言えないことをメールしたり、電話したりしない。
- 10 大人用のサイトは禁止です。私とオープンに共有できる情報サイトを検索しなさい。聞きたいことがあれば、誰かに尋ねなさい。できれば私かパパに聞きなさい。
- 11 公共の場では電源を切るか、マナーモードにしましょう。特にレストランや映画館、人と話しているときはそうしなさい。あなたは礼儀正しい人です。スマホを持っても変わらないでいて下さい。
- 12 あなたや他人の大事な部分の写真を送ったり、受け取ったりしてはいけません。笑わないで。あなたがいくら賢くても、そういうことをしたくなる時期がやってきます。それは悪い考えです。あなたの10代、大学時代、そして大人の生活を台無しにしてしまうかもしれない。インターネットの世界は広く非常に巨大で強力なのです。この巨大なものを消すのは難しく、風評も同じです。
- 13 膨大な数の写真や動画を撮らないこと。すべてを記録する必要はありません。自分自身の体験を大切にしましょう。あなたの記憶に蓄積されます。
- 14 時には電話を家に置いて行きなさい。そしてその選択に自信を持ちなさい。電話は生き物でもないしあなたの一部でもありません。電話なしで生きることを学んで下さい。ないと不安に感じることに負けないで下さい。
- 15 新しい音楽やクラシック、何百万人もの仲間が聴いている曲とは違った音楽をダウンロードしなさい。あなたの世代は歴史上最も音楽にアクセスできるのです。これを利用して視野を広げなさい。
- 16 時には言葉あそびやパズル、知能ゲームで遊びなさい。
- 17 視線を上げて、あなたの周りで起きている世界を見なさい。窓の外を見たり、鳥の鳴き声を聞いたり散歩をしたり、初めての人と話をしたりしましょう。検索しないであれこれ考えて見ましょう。
- 18 あなたは約束が守れないかもしれません。その時は電話を取り上げます。話し合いましょう。もう一度初めからやり直しましょう。
あなたと私は常に学んでいるのです。私はあなたの味方です。
いっしょに考えましょう。



あしあと

「家読」をご存じですか。学年総会の折にお話しさせていただきました。

家で読むと書いて、「うちどく」と読みます。「家読（うちどく）」は、山梨県が推進している「しなやかな心」の育成プロジェクトの取組の一つで、読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようとする試みです。

低学年では読み聞かせをしたり、親子でいっしょに読んだりして下さい。

中学年や高学年では、親子で同じ本を読んだり、同じ作家の本を読んだりして、感想を話し合うのもいいですね。

昨年、「家読百選」という家読用の本を紹介したパンフレットを全学年に配布しました。

ここで学年が変わった一年生、三年生、五年生には、新しいものをお届けしました。

パンフレットは県教育委員会社会教育課のホームページからダウンロードできます。

夏休みに家族で「家読（うちどく）」挑戦してみませんか。

